



2022年11月17日

ディーエムソリューションズ株式会社

2023年3月期 第2四半期 決算補足説明資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2022年11月11日（金）発表の2023年3月期第2四半期決算に関して、発表日以降に株主・投資家などの方々からいただいたご質問及びお問い合わせについて、当社の回答をまとめたものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1：第2四半期までの業績について、売上高の上振れ要因と利益が大幅に増加した理由について教えてください。

A：ダイレクトメール事業における発送代行サービスが好調なことに加え、利益率の高いフルフィルメントサービスの飛躍により、増収大幅増益となりました。また、インターネット事業も落ち込みを最小限に留め、全体として期初計画に対しても上振れ推移となりました。

Q2：通期業績予想を上方修正されましたが、上期の業績を踏まえると修正幅が少なく見えます。下期の業績見通しを教えてください。

A：下期についても、上期同様に主力のダイレクトメール事業は、発送代行サービスが堅調に推移し、フルフィルメントサービスについては更なる拡大を予想しています。インターネット事業の第2四半期までの状況やアパレル事業におけるアメリカ国内のインフレや円安等の影響による事業環境の不透明などを勘案した修正業績値としておりますが、修正計画も上振れできるように邁進してまいります。

Q3：フルフィルメントサービスが拡大している理由を教えてください。

A：安価でシンプルな料金体系や充実したサポート体制を強みに、EC 通販市場の拡大に伴い増加している煩雑な出荷関連業務の外部委託ニーズを的確に捉えており、これらが好調の要因となっています。また、前期まで行ってきたフルフィルメントセンターの増床により受託案件の増加に対応するとともに、効率化を進めております。

Q4：インターネット事業の状況について教えてください。

A：インターネット事業は、アルゴリズムの改善施策を行っているものの、主要メディアの回復には至っておらず、低迷が続いております。一方、自動車情報メディアサイト MOBY への流入が好調に推移したことやコスト圧縮等の施策の効果もあり、セグメント利益は前年同期比で9百万円の減益でとどめることができしております。下期以降は、コスト圧縮の施策を進めるとともに、アルゴリズムの改善施策を行い、全体業績へ貢献できるようにしてまいります。

【本リリースに関するお問合せ先】

ディーエムソリューションズ株式会社 管理部

TEL: 0422-57-3921 E-MAIL: ir@dm-s.co.jp

DM SOLUTIONS